

## リアルタイムOS M3T-MR30 ご使用上のお願い

M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10および M16C/Tinyシリーズ用リアルタイムOS M3T-MR30K およびM3T-MR30Sの使用上の注意事項を連絡します。

- iwup\_tskシステムコールに関する注意事項

### 1. 該当製品

M3T-MR30K V.1.00 Release 1 ~ V.3.30 Release 2

M3T-MR30S V.1.00 Release 1 ~ V.3.30 Release 2

### 2. 内容

iwup\_tskシステムコールを発行した場合、正常終了したにもかかわらずエラーコードE\_OKを返さない場合があります。

### 3. 発生条件

以下の(a)または(b)の条件をすべて満たす場合に問題が発生します。

(a) V.1.00 Release 1 ~ V.3.30 Release 1 を使用している場合

(1) iwup\_tskシステムコールの対象タスクが、slp\_tskまたはtslp\_tskシステムコールによる待ち状態である。

(2) 上記のタスクと同じ優先度で、READY状態またはRUN状態のタスクが存在する。

(b) V.3.30 Release 2 を使用している場合

上記の(a)の2つの条件に加えて、以下の条件を満たしている。

(1) コンフィグレーションファイルのシステム定義項目において"timeout = YES;"の記述がある。

### 3.1 発生例

以下のソース記述では、通常はID番号1のタスクが起動されてエラーコード E\_OKを返すため、error関数は実行されません。しかし発生条件3(a)または3(b)を満たした場合は、ID番号1のタスクが起動されてもE\_OKを返さないため、error関数が実行されます。

```
-----  
if( iwup_tsk( 1 ) != E_OK ){  
    error("Error¥n");  
}  
-----
```

### 4. 回避策

以下のとおり、エラーコードがE\_QOVRまたはE\_OBJではない場合は、そのエラーコードはE\_OKである、と判断する記述を追加してください。

```
-----  
ercd = iwup_tsk(1);  
if( (ercd == E_QOVR) || ( ercd == E_OBJ) ){  
    error("Error¥n");  
}  
-----
```

### 5. 恒久対策

次期バージョンアップで改修予定です。

---

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。